

令和3年度 第2回総合教育会議

日 時 令和4年3月29日(火) 午後3時58分～午後4時55分

場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 10人

総合教育会議構成員

市長 西岡 真一郎

教育長 大熊 雅士

教育長職務代理者 福元 弘和

教育委員 岡村 理栄子

教育委員 浅野 智彦

教育委員 小山田 佳代

関係者

学校教育部長 大津 雅利

生涯学習部長 藤本 裕

庶務課庶務係長 中島 憲彦

---

事務局

企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課企画政策係係長 東條 俊介

企画政策課企画政策係主任 前坂 悟史

---

欠席者 庶務課長 鈴木 功

傍聴者 1人

---

(午後4時00分開会)

◎西岡市長 皆様、こんにちは。定刻前ではございますけれども、出席者全部おそろいなので、開会させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様、こんにちは。ただいまから令和3年度第2回総合教育会議を開催いたします。

本日の進行につきましては、会議の主宰であります私が務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、令和3年度第2回小金井市総合教育会議に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃から、小金井市の教育行政に多大なる御尽力をいただいておりますことに、心から御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

本日は、令和3年度の総括や来年度への展望など、小金井市の教育について委員の皆様から

忌憚のない御意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

それでは早速、次第に沿って議事を進めさせていただきます。

議題第1号、新型コロナウイルス感染症に係る対応についてを議題といたします。

まず最初に、小金井市の新型コロナウイルス感染症に係る市の主な対応に関しまして、前回会議以降の状況などについて総括的に御説明をさせていただきます。

昨年末頃からオミクロン株による感染者が急増し、非常に厳しい状況が続いており、また、このオミクロン株による感染拡大は、特に子供たちへの感染者が急増するという現象になりました。先週、いわゆるまん防、まん延防止等重点措置が解除されたところではありますが、感染者数はいまだに高い水準にあり、引き続き感染防止に向けた対策が求められているところがあります。

現在も、オミクロン株、B A. 2への置き換わりが進んでいるという専門家からの報告もあり、予断を許さない状況でありまして、4月の24日、日曜日まで、東京都ではリバウンド警戒期間と位置づけられております。引き続き小金井市といたしましても、感染防止対策やワクチンの接種などに取り組んでまいります。

この間、小金井市では、緊急対応方針を第7弾まで策定いたしまして、命、暮らし、地域、市民サービスの基盤を守る様々な取組を進めてまいりました。昨日、小金井市議会、令和4年第1回定例会が閉会をいたしまして、上程させていただきましたその全ての議案を可決・成立していただきました。その予算の中にもコロナ感染症対策やワクチン接種に関連する予算が計上されておりまして、4月1日以降、その適切な執行に努めてまいる所存でございます。

特に今懸念しておりますのが、専門家からも御指摘がありますが、このオミクロン株、B A. 2によるさらなる再拡大、いわゆる第7派の到来の可能性があるという指摘をいただいておりますので、引き続き、感染症対策には今日、教育委員会の皆様方と連携をいたしまして、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。

新型コロナワクチンの3回目の接種につきましては、小金井市では2回目接種から6か月を経過した方が接種できるよう前倒しを進めております。また、5歳から11歳までの方への接種につきましても、2月末から接種券を発送いたしまして、3月12日より接種を開始しております。5歳11歳につきましては、ファイザー専用ワクチン、小児専用ワクチンを用いまして、大規模接種会場、旧西友ビルで、現在土曜日、日曜日を接種日といたしまして接種を行っているところでございます。

現状、予約は順調に埋まっておりまして、医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会の皆様方の御尽力によりまして、この年代へのワクチン接種は初めてのことでございますが、現場で懸命にこのワクチン接種、希望する方に迅速かつ安全に摂取をしていただけるように、力を合わせて取り組んでいるところでございます。

それで、最新の情報ですが、12歳から17歳まで、いわゆる中学生から高校生段階までの世代への3回目のワクチン接種が、いよいよスタートいたします。本日、対象者、確か約4,

500人と記憶してございますが、ワクチンの接種券を発送いたしました。この接種権が到着次第予約ができるということで、市内約20か所の医療機関、この12歳から17歳までの3回目接種は、当面ファイザーを用いるという国の方針でございまして、したがって、大規模接種会場はモデルナを使っておりますので、市内の診療所、クリニック、病院など20か所で新たな12歳17歳の方々の3回目の接種を順次行っていくということになっております。今後とも、引き続き、希望する方へのワクチンの接種をさらに進めていくとともに、感染拡大を防止する行動に向けた正しい情報の周知などを継続してまいります。

また、様々な状況にあります市民の皆様暮らしを守るための支援、感染症の影響を受けている事業者の皆様への支援、市の主催事業や市内小・中学校をはじめとする公共施設における対応など、必要な取組を適切に行ってまいります所存でございます。

続きまして、教育委員会における主な取組について、報告させていただきます。

◎**教育長** それでは、令和4年1月以降、小・中学校の新型コロナウイルス感染者が急増したことから、報告させていただきます。各学校では、手洗い、換気、マスクの着用、黙食など基本的な対策を徹底したところではありますが、1月から3月20日までの間に、小学生520名、中学生では65名、合計585名の陽性の報告がありました。この間学級閉鎖は43クラス、学年閉鎖は3学年で実施することになりました。

今後も新型コロナウイルス対応は継続することが想定されております。令和4年度については、ウィズコロナの中であっても、アイデアを出し合い、子供一人一人の安全を第一に考え、感染対策をするとともに、学びを止めないことをチャレンジしていきたいと考えているところでございます。

このピンチをチャンスに変え、新しい方の学びも協力に推進していきたいと考えております。各学校の教育活動が、さらに充実していったらほしいと願っているところでございます。

以上です。

◎**西岡市長** ありがとうございます。

教育長からの報告がありましたとおり、このオミクロン株によって子供たちの感染がかなり広がりました。これはもう全国的な傾向です。学校のみならず、保育園、幼稚園、様々な施設で連日新規陽性者数が発表され、施設、現場、学校で働いている職員・関係者の皆様には、本当に多大なる御尽力をいただいているところでございまして、感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、なかなか今後の見通しが立たない状況ではあります。しかし、この難局を何としても乗り越え、よりよい未来の小金井市をつくっていくために、また子供たちの学びを止めないように、安心・安全な学校運営ができますよう、小金井市といたしましても、教育委員の皆様からの御意見を伺いながら、適切に対応してまいりたいと考えております。どうぞ皆さんよろしく願いいたします。

そして、引き続き、教育委員会との情報を共有しながら、協力して対応してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

特に、市長といたしましては、この2年間、修学旅行や林間学校や移動教室など、本当に楽しみにしていた行事がなかなかできない、そういう状況の中であって、今、学校の先生たちは子供たちにいろいろな創意工夫をしていただきながら、どのような形で補完するかということに努めていただいていると思っております、感謝申し上げたいと思っております。本当にありがとうございました。

続きまして、議題第2号、教育委員会事業に係る令和3年度総括及び令和4年度展望についてを議題といたします。

教育委員会から説明を求めます。

◎**教育長** それでは、学校教育部、生涯学習部から順次御説明を申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

◎**学校教育部長** それでは、学校教育部の事業につきまして、令和3年度の総括と、令和4年度の展望を申し上げさせていただきます。

まず最初に、庶務課でございます。

令和3年度につきましては、小・中学校トイレ洋式化率の向上のため、児童生徒が日常的に使用する校舎棟のトイレのほか、災害時の避難場所でもある屋内運動場のトイレの洋式化のための改修工事を行い、小・中学校全体の洋式化率を52.2%とし、令和2年度から10.9ポイントの向上を達成したところでございます。

また、その他の施設整備関連では、三小の昇降口ひさし防水改修工事、四小の給食室グリストラップ改修工事、南小の受変電設備改修工事、一中の屋内運動場屋上防水改修工事などを実施し、学校施設の維持補修を適切に行いました。

令和4年度においては、小学校の学級編制標準が令和3年度から35人に段階的に引き下げられることとなったことを受けて、学級数が今後増加し、大規模校化が顕著となる見込みの一小、三小、東小について、学級数増加に応じた増改築等を検討するための基本計画を策定してまいります。

また、施設整備関連では、トイレの洋式化率の向上のため、小・中学校のトイレ改修工事を継続していくほか、二小及び緑中の給食室空調設備設置工事、本町小の屋上防水改修工事、一中の給食用リフト改修工事などを計画しており、引き続き、子供たちの安全・安心を最優先に、学校施設としてふさわしい快適な学習環境の整備に努めてまいります。

続きまして、学務課でございます。

令和3年度につきましては、まず、GIGAスクール構想についてでございます。引き続き小・中学校で1人1台のパソコンを利用した授業が円滑に実施できるよう、高速インターネットのネットワークの維持管理に努め、学校において良好な通信環境を構築できました。令和4年度におきましても、児童生徒の増加分や故障対応分を追加し、高速通信環境の維持に努めてまいります。

次に、学校給食調理業務のさらなる委託についてでございます。平成25年9月から小学

校5校の給食調理業務を委託した後、さらなる委託が課題となっております。令和3年7月に小学校等で説明会を開催いたしました。なお、令和4年4月から三小の給食調理業務を委託することとなりました。予算につきましては、令和3年9月に債務負担行為の補正予算を可決し、引継ぎに当たりましては十分な引継期間をとり、4月からの「安全でおいしく温かい給食」の提供に支障がないよう準備を進めているところでございます。

続きまして、指導室でございます。

令和3年度につきましては、小金井市いじめ防止対策推進条例の施行に伴い、小金井市教育委員会いじめ対策委員会が設置され、これまで2度の会議を実施いたしました。会議においては、小金井市いじめ防止基本方針に対する御意見や、児童・生徒へのアンケート調査の項目に対する御意見など、多岐にわたって、専門的知見を有する委員の皆様から御意見を伺うことができたところでございます。

また、昨年度、コロナウイルス感染拡大に伴い、水泳の実技指導が実施できなかつたため、今年度は全ての小学校に民間の水泳指導員を指導講師として配置し、小学校での水泳実技指導が未経験の1・2学年の指導補助に当てられました。

令和4年度につきましては、もくせい教室を東京学芸大学構内に完全移転いたします。これまで利用を予定している2部屋のうち1部屋のみで試行実験を進めてまいりましたが、利用していなかったもう1つの部屋を主に個別学習用として環境整備し、2部屋の体制で運営してまいります。

コミュニティ・スクール指定の条件となる学校運営協議会につきましては、これまで設置した4校に加え、新たに5校に設置いたします。学校教育に山積する様々な課題について、地域の方々と協力しながら、持続性をもって解決に取り組むための大きな基礎となることを考えてございます。

学校教育部につきましては以上でございます。

◎生涯学習部長 それでは、引き続き生涯学習部の事業について、令和3年度の総括と令和4年度の展望を申し上げます。

最初に、生涯学習課でございます。主な項目について申し上げます。

まず、放課後子ども教室についてですが、緊急事態宣言期間中は中止としていたものの、期間以外は、原則感染拡大防止策を十分に施した上で実施をしてきました。

続きまして地域学校協働活動です。昨年度の緑小学校からスタートした本事業は、新たに一小、前原小、南中を加えて実施したところです。しかしながら、同様に新型コロナウイルス感染症の影響から、思うような活動回数はできなかったですが、学校区ごとに特色のある取組をしていただきました。

続きまして、成人の日記念行事についてお話をさせていただきます。昨年度は、緊急事態宣言が発出されたことから、やむ無く会場開催は中止とさせていただきましたが、今年度は、年が明けてから新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大の局面に

入ってきた状況下ではございましたが、1回の式典に参加する人数を減らし、参加者同士の密を避けるため3部制で実施いたしました。新成人にとって、一生に一度の成人式を現下の状況の中、混乱なく挙行できたことは、担当としてもうれしい限りでした。

続きまして、文化財関係ですが、市史編さん事業の一環として、市史年表及び索引編を作成し、また、2年間延期となってしまった市史編さん委員部会長による地域史講座を実施しました。このほか、前原三丁目開発に伴う平代坂遺跡における遺跡見学会を実施いたしました。

令和4年度における事業展望についてですが、放課後の子供の居場所づくりにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を勘案し、安全・安心を最優先としてコーディネーターの方や学校とも連携して、居場所づくりの充実に引き続き努めてまいります。また、地域学校協働活動につきましては、三小・四小・東小・南小・一中において新たに実施する予定です。

文化財関係につきましては、玉川上水からの分水の遺構である上貫橋という橋が発見されるという新たな展開がありました。現在さらに詳細は調査中ですが、本件も含めた小金井の魅力発信に今後も努めてまいります。

続きまして、スポーツ振興担当事業について、説明いたします。

令和3年度は、小金井市のスポーツ振興を目的に、例年、小金井市体育協会への補助や、市民体育祭、スポーツ教室・各種大会などを実施しております。昨年度に引き続き、今年度も、至る場面で新型コロナウイルスの影響を受けてまいりましたが、今年度は手指消毒やプレー中を除くマスク着用など、皆様に対策の徹底に御協力をいただきながら、時々の状況を勘案しつつ対応してまいりました。

続きまして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会です。

オリンピック・パラリンピック聖火リレーは公道走行が中止となり、その代替イベントとして、オリンピック聖火リレーは7月14日に東京競馬場で、パラリンピック聖火リレーは8月23日に都立砧公園にて、トーチキスによる点火セレモニーが開催されました。また、パラリンピック聖火リレーに先立つ8月20日には、SOCOLA武蔵小金井クロスのコロスコート広場で「小金井の火」を起こす採火式を行い、パラリンピック聖火へとつなげました。

7月24日及び25日、自転車競技、ロードが市内を走り抜けました。各日とも100人のボランティアと、コース沿道の皆様、関係団体に御協力をいただき、市内約1.8メートルを事故なく無事に実施することができました。

10月31日、小金井市ゆかりの選手や聖火ランナーを招き、小金井宮地楽器ホールで大会までの取組や大会を振り返る「小金井市東京2020大会報告」を開催しました。今回の大会では、4人の小金井市ゆかりの選手が出場され、すばらしい御活躍をされました。

さて、スポーツ振興担当では、数年来、東京2020大会に向けて、機運醸成事業をはじめ

めとするスポーツ振興に取り組んでまいりました。この取組を一過性のもので終わらせないために、また、次期スポーツ推進計画を策定し、スポーツの推進に関する重要事項を調査審議し、ますますのスポーツ振興を図るため、新たにスポーツ推進審議会を設置をいたしました。

続きまして、栗山公園健康運動センター大規模改修工事です。同センターは平成6年6月に竣工し、以降、小規模な改修、修繕工事を実施してまいりましたが、設備機器等の経年劣化や建物の損傷が進み、改善の必要が高まっておりました。そこで、平成30年度に策定した栗山公園健康運動センター長期修繕計画に従い、大規模改修を実施いたしました。現在、工事も無事終了し、来る4月1日金曜日の再開を待つばかりとなっております。

令和4年度は、引き続きコロナ禍における事業展開が予想されていますが、スポーツをする機会が減少している昨今、スポーツ推進計画にうたう「だれでも、いつでも、どこでも」の理念に基づき、手軽に屋外で実施でき、健康増進を図れるポールウォーキングの教室を実施いたします。また、スポーツ推進審議会において令和5年度以降の次期スポーツ推進計画を策定いたします。さらに、小金井市総合体育館長期修繕計画に従い、総合体育館において第3期の大規模改修工事を実施いたします。この第3期工事もちまして、数か年に及ぶ総合体育館・栗山公園健康運動センターにおける大規模改修工事は一段落となります。

続きまして、図書館でございます。令和3年度につきましては、3点ございます。

1点目は、本日の教育委員会で御審議いただきました小金井市立図書館基本計画の策定です。本年度末が終期となります小金井市立図書館運営方針の後継計画として策定し、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画となります。本計画の目指す図書館像「人と地域のための いちばんみぢかな『知の拠点』」の実現に向けて、施策と事業を展開してまいります。

2点目は、国の森林環境譲与税を活用して、主に本館児童室及び緑分館の書架等の修繕を実施をいたしました。老朽化している書架を修繕することで、市民の安全を確保するとともに、様々なサイズの図書にも対応できるよう棚板を可能な限り可動式にしたことで、収蔵能力を増やすこともできました。

3点目は電子図書館サービスについてです。令和2年度に、コロナ対策として非来館型サービスの電子図書館を開設しました。魅力ある資料をそろえるために、令和3年度も電子書籍コンテンツの充実に努めました。

令和4年度においては2点です。

1点目は、令和3年度に引き続き、森林環境譲与税を活用して、主に本館参考資料室の書架修繕及び新聞の閲覧台の購入を行います。

2点目は、図書館本館の放送設備の更新です。現在の放送設備は、図書館閉館時の御案内や、災害等の非常時に、館内アナウンスをするために欠かせない設備となっております。導入から既に30年を経過しており、設備の老朽化が見られることから、更新を行うものでござ

います。

最後に、公民館でございます。

令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公民館主催事業の一部について、中止又は延期せざるを得ない状況もありました。そうした中、公民館各室の換気や、消毒、マスク着用の徹底など、活動団体の皆さんの御協力によりまして一定の感染拡大防止対策を図り、今ではそれが日常として定着していると感じております。これからも感染の状況を注視し、何よりも市民の安全を第一に考え、感染防止対策に意を払いつつ、通常の運営ができるよう目指していく考えです。

令和3年度の主な事業としましては、貫井南分館受水設備改修工事、緑分館屋上緑化工事を実施し、両工事とも予定どおり完了しております。

また、その他公民館事業に要する経費として、具体的には主催講座の映像を撮影・記録するビデオカメラ、撮影用ライト等の備品を購入しましたので、今後、コロナ禍における公民館事業の新しい取組として、積極的に活用してまいります。

令和4年度につきましては、公民館中長期計画を策定して2年目となります。同計画に位置づけられているアウトリーチ型活動の充実や、今般のコロナ禍における顕在化したものともいえる学習様式の多様化、生涯学習活動の継続への対応として、講座管理システム機器等借上料を予算化し、令和3年度に購入した動画撮影機材のさらなる有効活用を図ってまいります。

また、公民館事業運営委託、公民館施設利用料有料化など、同計画に位置づけられた公民館の課題について着実に進め、同計画で公民館の将来像として掲げられた「つどい、学び、つながる地域の拠点（ひろば）」の実現に向けて、着実な取組を進めてまいります。

長くなりましたが、生涯学習部につきましては以上でございます。

◎西岡市長 それでは、お二人の部長から令和3年度の総括及び令和4年度の展望につきまして、説明いただきました。

ここからは、教育委員の皆様方からぜひ御意見や御感想をお聞かせいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

最初に挙手をしていただけたら……。岡村委員。

◎岡村委員 学校給食調理業務の委託についての感想ですが、これまでも委託を進めていても、直営校と同様に「安全でおいしく温かい給食」を提供できていた事実が、保護者や市民に理解を得られていると思います。

また、アレルギー対応では、除去食を2種類用意するなど、他市町村より手厚い提供がなされています。今後とも、自校調理方式を継続し、アレルギー対応など丁寧な対応を継続し、「安全でおいしく温かい給食」を提供するようによりお願いいたします。

◎西岡市長 岡村委員、御意見をいただきましてありがとうございます。学校給食につきまして、御感想や御意見をいただきました。



市長といたしましても、教育委員会が進めていく方針となっているこの自校方式ですね。私としてもこれは守っていきたいと思っておりますし、学校給食の指針においては、この学校給食調理業務の委託を進めていく中で、市民の方々、関係者の方々への説明会や、また市議会でも御議論いただきました。その中で、私からも1校に1人配置している栄養士については、これもその方針を堅持していくということで、その指針のほうにも明記をしていただきました。こういった方針を市長としても教育委員会と連携しながら、堅持しながら、歴史と伝統を積み重ねてきた「安全でおいしく温かい」学校給食が維持できるように、努力してまいります。

また、給食を通じた食育を進め、そして、私、市長就任以来、地場産野菜、小金井産野菜の学校給食の活用率を高めていただく、そういう取組を進めておりまして、子供たちと農家の皆さんとのつながりも出来つつあります。

市長就任以来、14校全校を訪問いたしまして、子供たちと一緒に給食を食べるという取組も進めてまいりました。残念ながらコロナの発生で、2巡目ができていないのでありますけれども、その環境が整いましたら、引き続き学校訪問をぜひスタートをさせていただきたいと思っておりますので、教育委員会の皆さんよろしく願いいたします。そういう日々が来ることを楽しみにしております。

続きまして、お願いします。福元委員。

**◎福元教育長職務代理者** 今年度は、新型コロナウイルス対応で学校も大変な思いをしながら過ごしてきた1年だったと思います。そのような中で、特に多忙を極める副校長に対し、その補佐を行う職員が増員されたことは有り難いことと感じております。今後は、ぜひ全校に配置していただきたいと思うところです。

来年度はもくせい教室が東京学芸大学に移転されます。場所として過ごしやすい環境になることを願うとともに、大学内という稀有な立地を生かし、ぜひ内容面でも子供たちにとって魅力的なものになるように大学との連携を充実させていただきたいと思います。

**◎西岡市長** 福元委員ありがとうございました。冒頭申し上げましたが、本当にコロナの対応では、学校の先生方、教職員の方、関係者の皆様には、今もなお御尽力をいただいているところでありまして、改めて感謝を申し上げます。

また、副校長の補佐への御意見もいただきました。私も以前、東京都議会で28年間過ごしている中で、毎年、東京都副校長会の方々からいろんな御要望をお聞かせいただきました。その中で、今や、副校長の成り手がいない。副校長に様々な業務が集中し、多忙を極めていて、この副校長対策をしっかりしないと、将来の校長候補がいなくなってしまう。これは、東京都教育庁の中では大変重要な課題ということ、ずっとお話を聞いてきましたので、市長就任以来、この副校長の業務の超多忙化をどう解消するか。将来の校長候補を育成するためにも、成り手をどうやって増やしていくかということについては、教育長と議論しながら、いろいろな対策を講じてきていただいています。

まだまだ、取組の途中にあると思っておりますけれども、小金井市としてその対策をしっかり努力していきたいと思っておりますし、将来、東京都の教育委員会の中で活躍できる人材を、小金井からも育てていくと、こういった姿勢も大切ですよということも、教育長と共有させていただいているところです。努力したいと思っております。

また、もくせい教室についても御評価をいただきました。昨年12月に教育長と一緒に学芸大学で試行中とはいいいながら、授業を展開しているもくせい教室を私も視察させていただきました。ちょうどクリスマス会の最中でした。私がサンタ役になりまして、プレゼントを配布させていただきました。この本当に子供たちは楽しく、自分らしく、いろいろな活動をしている現場を見せていただきました。また、ボランティアの方や関係者の方々が御尽力いただいているお姿も拝見しました。

大学の中に、その当該自治体のもくせい教室のような性格を持つ教室が入るといのは、全国でも恐らく例はないと聞いています。大学が持つ、学芸大学ならではの多様な人材や学校の特有のすばらしい環境、そういったまさに地域資源を生かした取組になるようにしたいと思っておりますし、願っておりますし、何よりもそこに通う子供たちにとって、自信につながる、今までになかった新たな気づきを得られる場になってほしいとそう願っております。いよいよ本格運用になりますが、このことを実現していただいている東京学芸大学関係者の皆様方に改めまして感謝を申し上げますとともに、小金井市としてもこの取組をしっかり御支援してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして。小山田委員。

◎**小山田委員** 私からは生涯学習課関係で、意見を述べさせていただきたいと思っております。

小金井の子供の数は今後も増え続けるということが予測され、放課後の子供の居場所のニーズはますます高まってくると思われまます。

そのような中で、放課後子ども教室については、平日の月曜日から金曜日までの全日開催を目指していて、コーディネーターさんを中心として子供の安全な居場所づくりを充実していただいているということは、御協力をいただいている方々に感謝を申し上げたいと思っております。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初の予定とおりの回数を実施することができなかったことは、非常に残念ではありますが、教育委員会としては、放課後の子供たちの居場所づくりは重要事項でありますので、市長部局とともに連携して、強く推し進めてまいりたいと思っております。同様に、地域学校協働活動についても、まだまだ課題も多いとは思いますが、全市的に実施できるよう望んでおります。

もう1点、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、スポーツ推進審議会に関連して申し上げます。

大会は、コロナ禍での無観客開催という、東京に招致した当初は誰にも想像できなかったような形での開催となりました。しかし、多くの関係者が知恵を絞り、皆で協力をした結果、無事に閉会式を迎えることができました。

小金井市では、聖火リレーの公道走行が中止となったことは大変残念でしたが、自転車競技をはじめとするその他の事業について、しっかりとその役割を果たせたことは、これもまた、多くの関係者が協力し合った結果であると考えております。改めて、皆様方の御協力に感謝を申し上げたいと思っております。

最後に教育委員会では、スポーツ振興のための審議会を新たに設置しております。大会を通じて再確認した多くの知恵を集め、協力し合うことの大切さを、この審議会でも実現していきたいと考えております。ここでの審議を、スポーツ振興に結びつけていきたいと考えておりますので、必要な支援につきましては、御協力をよろしくお願いいたします。

以上です。

◎西岡市長 ありがとうございます。

小山田委員のまさに御専門とする学校と地域との連携、学校を中心としたコミュニティーづくりに寄与するという意味では、この放課後子ども教室は非常に重要な事業です。また、地域学校協働活動についても、大変重要な事業だと思っております。ぜひ、この推進に市も努力いたしますので、引き続きの取組を小山田委員よろしくお願いいたします。

また、オリ・パラにつきましては、本当に聖火リレーが実現できなかったというのはもう非常に残念です。何年間もかけて準備をし、1964年のオリンピックは南北を結ぶ聖火リレーがあったので、2020年は東西を結ぶリレーコースを構築したんですが、残念ながら開催はできませんでした。しかし、このオリ・パラを通じて経験したこと、またレガシーをつくり出したこと、これを今後のスポーツ振興に生かしてまいりたいと考えております。

オリンピック・パラリンピックを想定いたしまして、もともと生涯学習課長がいわゆる生涯学習とスポーツ振興両方兼務している形だったのですが、オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長というものを創設して臨みました。結果、1年間の延長及び無観客という史上まれにみるオリ・パラとはなりました。何とか無事に終えました。いろいろと残念なことはありましたけれども無事に終えました。

令和4年度におきましては、引き続きスポーツ振興課長をそのまま継続をするという判断をさせていただきましたので、それは、私市長としては、スポーツ振興にも引き続き力を入れていくという意思表示でもあります。したがって、今後、新しいスポーツ振興計画の策定、また委員から御紹介がありましたようにスポーツの審議会も設置できました。高齢化社会を迎えるに当たっても、やはり健康は非常に重要でありますので、このスポーツの力を発揮できる小金井市となるように、教育委員会と連携して、私ども市長部局としても、スポーツ振興には力を入れてまいりたいと思っております。

課題としては、屋外のやっぱりスポーツ施設など、スポーツの施設が小金井市は非常に脆弱なので、どうやって、今ある地域の資源や民間の施設や今ある既存の施設を何とか有効に利用させていただける手だてを構築していきたいと思っております。

総合学院テクノスカレッジは体育館を貸出しをしていただいて、これは初めての事例なんですけど、こういった好事例をほかの施設にも運用できるように努めてまいりたいと思っております。努力してまいりたいと思っております。

では、最後に浅野委員、よろしくお願ひいたします。

◎浅野委員 私からは2点申し上げます。それぞれ、図書館と公民館についてです。

まず図書館についてですが、図書館本館ですね。築年数が既に40年を超えておりまして、老朽化が大分進んでおります。ですが、耐震性のほうは確保されていると理解しています。全般的に施設については、いろいろと難しい問題が多いと思うんですけども、ここ数年は、比較的大規模な改修工事を行っていただいております、その点大変感謝しております。具体的にいいますと、本館の非常用照明設備、空調設備、外壁などですね。これらは市民の安心安全対策のために非常に重要な部分になりますので、ここを進めていただいたことは、大変ありがたいと思っております。

令和3年度に続いて令和4年度は、書架の設備の修繕を進めていただいていると伺っております。これは、市民の皆さんが直接手を触れる場所ですので、ここをきちんとやっただくというのは、大変ありがたいことだと思っております。また、聞くところでは、森林環境譲与税でしょうか、こちらを活用することによって、財政的な負担も幾分か緩和されると伺っておりますので、この施策、どうぞよろしくお願ひいたします。以上が図書館についてです。

2つ目に、公民館に関してです。令和3年度は先ほど御報告いただきましたように、コロナ渦によって公民館での活動は制約を受け続けたという、こういう現状があります。しかしながら、そんな中でも、利用団体であるとか行政の工夫によって、中核的な基本的な部分は維持できていたのかなと考えております。老朽化している施設等についても、一定の工事等を行っていただきました。この点につきましても感謝をいたします。今後も引き続き、施設・設備の維持管理につきまして、適切な対応をお願ひしたいと思ひます。

令和4年度につきましては、公民館の中長期計画もございますけれども、こちらに位置づけられております学習様式の多様化ということが、一つ大きな柱になっているのかなと考えております。これに関しましては、先ほど御説明にありましたが、講座管理システム、こちらの借上料を、システムに必要なお金を予算化していただいたということで、大変ありがたく思っております。この施策実現しますと、オンラインを活用した事業の推進につながりますので、公民館になかなか足を運ぶことができないという方々とか、あるいは若い世代の皆さんに学びの機会を提供するという、そういったことの上で大変大きな役割を果たすだろうと考えております。積極的な対応をぜひよろしくお願ひします。また、その事業だけではなく、中長期計画全体も、着実な進捗を進めていただきたく、どうぞよろしくお願ひいたします。

私からは以上です。

◎西岡市長 浅野委員、ありがとうございました。貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。感謝申し上げます。

図書館につきましては、教育委員会と連携をしながら、その修繕に努めていきたいところでございます。毎年毎年、課題を克服しながら、今ある施設を有効に活用できるような取組を進めているところです。

御指摘の森林環境譲与税というものが、小金井市にも配分されることになっておりまして、毎年様々な分野に転用しております。主に環境分野が多いですけれども、教育委員会においても有効に活用できるように、ぜひ積極的な方策を検討していただければと考えているところです。

公民館につきましては、そのオンラインを活用した事業の推進に、令和4年度初めて取り組むことになります。コロナ禍の発生は、恐らくそのデジタル化を飛躍的に向上させました。いまやオンライン会議などはもう日常になりましたし、コロナがもし発生していなければ5年以上かかったであろう様々なシステムも一気に加速して、GIGAスクールなども最たるものだと思います。そういう状況の中で、初めて講座管理システム、ウェビナーを活用したということで、予算編成作業の中では実は様々な調整があったんですが、最終的にはこれはもうしっかり取り組もうということで決断をした内容です。したがって、担当職員の皆様方にもせっきく導入するシステムですから、これをぜひ有効に活用してほしいと市長としてはもう願うところであります。努力もしなければいけないところだと思っています。

ありがとうございました。

それでは最後に、教育長から総括をお願いいたします。

◎教育長 令和3年をこう一言で申し上げると、コロナ禍でありながらも、市民・子供の安心・安全を第一に考え、感染対策に取り組むことによって、活動・学びを止めないことに全力で取り組んできたという1年であったかなと考えております。

学校教育に関していうと、全国に先駆けて導入していただきました学校ICTをフルに活用し、タブレットを活用した授業によって、一人一人の特性に応じた指導を推進する、いわゆる個別最適化でございますが、それを一気に進めることができました。また、多様な関わりのある授業に取り組むことも可能となりました。昨年度に比べると、今年ソフトの使用の割合は何と1.3倍という数字もたたき出しました。それにはたくさんの支援等もあったんですが、東京学芸大学との連携が一つの大きなきっかけになったと考えております。生涯学習課では、今もたくさん報告がありましたが、やはりコロナ関連でいいますと、図書館に電子図書を導入したいいわゆる知の拠点として新しい側面がくれたこと、それから、オリンピック・パラリンピックは、日々と言っていいぐらい状況が変わる中で、小金井がやらなければならないことを、しっかり確実に実施できたことが挙げられるかなと思います。

それから、いわゆる市の行事で、初めて動画配信をしたというのが、実は成人式でありました。先もどうなるか分からないという状況で、動画配信もすることは本当にはっきり言っ

て胃の痛くなる日をすごく過ごしてきたんですが、当日は何とか配信ができて、胸をなでおろしたところですよ。今年度は対面で実現できなかった成人式に代わりまして、宮地楽器ホールの小ホールでしたけれども、そこで、イベントを行うことができました。そこに、オリンピック・パラリンピックで使用することになっていた聖火を展示して、それを持って写真を撮れるような工夫もしていただきました。

このように、コロナ禍という最大のピンチをチャンスに変えることができたという1年だったかなと考えるところです。

この令和4年の展望といたしましては、まずやはり、子供を育てるなら小金井と言われること、そして、一生を通じて多様な学びが実現できるまちは小金井だと言われるように、まださらに前進してまいりたいと考えております。そのとき、今、考えなければならないことは、現代の子育ての一番の課題は、孤立した子育てと言われる子育てが、広まってきております。子育ては本来、多くの人の目で多くの人の世話になりながら、親御さんも子供も多くの人の手助けによって初めてできるものだと考えています。よって、この子育ては子供を育てるという、今の子育ては孤立の孤の子育てですが、孤立した子育てをなくすためにも、市を挙げて子育てができるまちにしていかなければならないと考えます。その孤立した子育てではなくて、本来の子育てを実現するためには、私ども教育委員会の学校教育部と生涯学習部の連携だけでは十分だとは言えません。保健、健康、学童、それから保育園、きらり等の様々な施設が一体となって、きめ細やかな連携を図ることで、その子育てが実現できるわけですよ。しかし、これを実現するために、今ある業務を増やすということではなくて、今ある業務をしっかりと見極め、スクラップ・アンド・ビルドを行うことによって、連携することが第一に考え、切れ目のない子育て、そして、生涯にわたって学び続けることができるまちな小金井にするために全力を尽くしてまいりたいと思いますので、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

◎西岡市長 教育長、ありがとうございます。総括的な今年の1年間の振り返りと、今後に向けた展望ですね。聞かせていただきました。

私も教育長と力を合わせまして、子育て・教育環境の向上、子育て環境日本一という大きなスローガンを掲げておりますが、この旗は決して下すことなく、まち全体の総合力、地域の力で切れ目のない子育て支援、子育て・教育環境の向上を果たせる、そういう小金井市を目指してまいります。

さて、昨日3月28日、市議会本会議におきまして、浅野委員にも策定委員として参画していただいて大変御尽力いただきました第5次基本構想、前期基本計画が議決をされ、成立いたしました。基本構想は新型コロナウイルスへの対応も踏まえた令和3年度から令和12年度までの10年間の小金井市の指針となる最上位の計画でございます。新型コロナウイルス

ス感染症対策をはじめ、学校施設の長寿命化、新庁舎建設など、提案課題が山積している状況ではございますが、市民の皆様の生活をより豊かなものとする市政運営を心がけてまいり所存でございます。

また、本年1月の1日には、小金井市では、初めて小金井市気候非常事態宣言を発出いたしました。これは、これも全国で初めてと教えていただいたのですが、私の発案で、この気候非常事態宣言は、子供たちの環境教育にこれはもう絶対欠かせないテーマなので、未来を生きる人材育成とつながるものでなければならないので、大熊教育長と連名による、市長・教育長連名の宣言を発出させていただきました。これから、この地球温暖化対策やSDGsなど、環境教育にも力を入れていただきたいと思いますし、小金井市も市長部局で行える事業には、子供たちも参加できるように、そういう意識をもって取り組んでいく所存でございます。

また、令和4年度から、新たに子どもの権利に関する条例に基づく権利侵害の相談・救済に対応するため、子どもオンブズパーソンを設置いたします。こちらにつきましても、関連する予算を昨日閉会いたしました第1回定例会で御議決をいただきました。ちょうど小金井市の中心部、第一小学校のすぐ近く、農工大通り沿いに、仮称子ども相談室を開設する準備をいたしました。9月の1日の開設を目指しております。こちらも、児童青少年課が所管しておりますが、教育委員会との連携は欠かせません。どうぞよろしく願いいたします。

小金井市といたしましても、さらに、子供が自分らしくのびのび育つことができるよう、取組を進めてまいります。

さて、日頃から小金井市の教育行政における課題に対し、真正面から取り組まれている教育委員会の皆様には、ここで改めて感謝を申し上げます。今後につきましても、引き続き、皆様からのお力添えを心からお願いを申し上げます。

最後になりますが、3月末で御退任されますこの間御尽力いただきました福元委員と岡村委員に、一言感謝を申し上げます。2期8年間にわたりまして、小金井市の教育行政に多大なる御尽力をいただき、また、総合教育会議におきましても、大変お世話になりましたこと、改めて御礼と感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。どうぞこれからも、小金井市の教育行政を温かく見守っていただきたいと思いますし、どうか引き続きの御指導、御助言をお願い申し上げます。

それでは、以上で予定した議題は全て終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。これをもちまして、令和3年度第2回総合教育会議を終了いたします。

皆様ありがとうございました。

(午後4時55分散会)